

事前アンケートへの回答・コメント

2022年5月24日（火）
（一財）日越教育・交流協会 日本語講師
大下郁子

1 現在考えていらっしゃる課題・問題など

① 基本的な漢字の読み取り書き取りが不十分。

- ・ 漢字ドリル（日本語学習者向け教材）
- ・ スマホアプリ
- ・ 漢字テスト

②本人の将来も含め授業のあり方を考えてしたい。

- ・ まずは学習者本人の将来の展望をしっかりと聞くことが必要。そして本人がボランティアによるサポートを望んでいるのかどうかを確認することが必要。本人がサポートを望んでいるなら、無理のない範囲でサポートする。たとえば日本語能力試験対策、ビジネス会話、日常会話、方言など。

③日本語の日常会話ができる効果的な教え方をいかに工夫するかが課題。

- ・ ロールプレイ（まずはボランティアが見本を示し、ボランティアと学習者が練習、学習者同士でも練習してもらう）
- ・ つながるひろがるにほんごでの暮らし（「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト） <https://tsunagarujp.bunka.go.jp/>

④ 日本語の基本的な教え方も知らないでテキストを解説したり問題を解いたりすることを中心にしているのです、順序立てて教える方法、テキストを知りたい。

- ・ 基本的には、テキストに書かれていることをテキストに書かれている順番に勉強していく方法で OK。日本語教育のテキストは、日本語教育の専門家が研究した効果的な教授法に基づいて作成されている。テキストの全体像を把握した上で教えると効果的に教えることができる。
- ・ ボランティアがいきなり解説しても、学習者はその解説を理解できない。ボランティアが質問して、学習者に答えさせる。学習者が答えられなかったら、解説。実例を出しながら解説するとよい。

⑤日本語を教えるための教育を受けていないのでやり方が正しいのか不安がある。もっと理解が進む方法があるのではないか。

- ・ 楽しく日本語で交流することが一番大切。その一方で、日本語教育について学ぶことも大切。
- ・ YouTubeなどで「有資格の日本語教師」が出演している日本語の教え方動画を視聴すると参考になる。

⑥仕事で疲れていて自宅での日本語学習の時間がとれていない。

- ・ 学習者にとって一番大切なのは仕事。それを理解していることをまずは示してあげる。せめて日本語教室の中では学習者にたくさん話してもらうようにする。その上で、自宅学習の重要性は常に伝えていく。日本語能力試験の前だけでもまとまった自宅学習の時間をとるよう促す。

⑦N2取得できるように援助したい。

- ・ 問題集を一緒に解く。
- ・ 自宅学習を促す。

2 今後に向けた改善策・提案など。

① 地域との交流、若者交流の企画をどうすすめていくか。

- ・ 地域にはすでに他の国際交流団体があるので、それを紹介する。

② 多くの日本人と会話できる機会を。

- ・ 新聞等に掲載されている地域のイベントを紹介する。
- ・ ネット上には様々な国際交流イベントがあるので、それを紹介する。「有資格の日本語教師」が企画しているものは、基本的には安心で良質。

3 講師へのご質問

①どのように教材を選んだらよいか。

- ・ 学習者のレベル、ニーズに合わせて選ぶ。学習者の意見も聞く。
- ・ 出版年が古いものより、新しいものの方がよい（原則）。
- ・ 書店に行って実際に読んでみるのが一番よい。
- ・ インターネット上の情報も参考にする。

※凡人社「日本語教材リスト」

<https://www.bonjinsha.com/wp/nihongokyouzailist>

②効果的な指導方法を知りたい。

- ・ 教材研究をしっかりと行う。教室で使用するテキストがどのような目的や教授法のもとに作成されているのかをしっかりと研究し、テキストに従って教える。テキストの「はじめに」や「本書の使い方」を読むとテキストが作成された目的や編著者の考え方を、「目次」を読むとテキストの構成を知ることができる。

※ 深澤のぞみ・本田 弘之『日本語を教えるための教材研究入門』（くろしお出版、2019年）参照。

- ・ 日本語教育のテキストは、日本語学校や大学で使用するために作成されており、1コマ1課ずつ進めると1年間で1冊終わるようになっている。そして、一冊すべて勉強することによって初めてまとまった学習効果が得られるように作られている（原則）。目次の章立てを見て機械的に日程を割り振り、その通りに授業を進めていくのがお勧め。
- ・ 対話重視。学習者にたくさん話してもらい、適宜誤用を訂正する。
- ・ 説明型授業ではなく、質問型授業。

4 その他自由意見

① ベトナム人が多く働いている会社にどう働きかけて行けば良いか？ 個人的には何もできない。

- ・ 地域の方への地道な広報活動が必要。